



読まんかね



発行：隠岐の島町図書館 隠岐郡隠岐の島町西町吉田の二・17番地
TEL：08512-2-2341 FAX：08512-2-9198

図書館運営委員会

6月8日(木)の午後7時から平成18年度第1回運営委員会をおこないました。昨年度の報告と今年度の活動予定などを発表したあと、意見交換をおこないました。

意見を受けての今後の主な課題

郷土史料の充実に向けての具体的な方法の確立
歴史民俗研究会との連携

学校との連携の強化
小学校だけでなく、中学・高校への働きかけ

広域サービスの充実
各公民館図書室との連携

おはなしのへやスペシャル

6月17日(土)の午後3時より研修室で、おはなしのへやスペシャルを開催しました。これは平成18年度親子の読書普及事業の第1回目で、島根県立図書館読書普及指導員の江角宏子先生を講師にお迎えして、絵本の読み聞かせなどをしていただきました。30名近くの参加者があり、みなさん楽しんでおられました。また、お話会の後には読み聞かせボランティアの方たちとの交流会をおこないました。笑い声も聞こえる和やかな雰囲気の中で、様々な意見が交わされたようです。

などの積極的な意見交換となりました。まだまだ課題はたくさんありますが、ひとつずつ確実にしていきたいと思えます。みなさんの図書館をより良くしていくためには、利用者の方々の声がとても参考になります。雑誌コーナーに意見箱を設置しておりますので、小さなことから大きなことまでたくさんの意見をいただけるとありがたいと思います。

十八日(日)には、中村保育園でも読み聞かせをしていただきました。



* 今月の特集 *

「空へ！」

新隠岐空港の開港に合わせたテーマにしました。飛行機の本、星や天気の本など空に関する本を展示しています。

* さんぽりのえほん *

「のりもの」

くるま、ひこうき、きしゃなどいろんなのりものがでてくるおはなしをしょうがいしています。

6月中に、中町の松本一利さんに花壇や裏庭のツツジの剪定をしていただきました。日常業務に追われて、花壇の手入れなどまで手がまわらない私たちを見かねて、声を掛けてくださいました。朝の涼しいうちにお出でになって、せっせと剪定作業をしてくださいました。

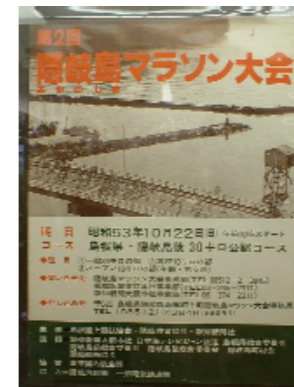


中村の吉田光秋さんより、木の椅子をいただきました。切り株を彫って作られたもので、椅子によって風合いが違いそれぞれ味がある作品となっています。吉田さんには、手づくりの花台や水墨画なども寄贈していただいています。館内に置いてありますので自然に癒やされる感覚が伝わります。

新隠岐空港開港記念展 ～隠岐の旅 いま・むかし～



7月30日(日)まで展示コーナーにおきまして『新隠岐空港開港記念展～隠岐の旅 いま・むかし～』と題して隠岐の観光パンフレットやイベントポスターなどの展示をおこなっています。昭和初期の隠岐汽船の航路案内や観光案内など今では目にすることのないめずらしいものも展示してあります。また、東亜国内航空のポスターや、第2回の隠岐島マラソンのポスターなども展示してあります。この機会にぜひご覧下さい。



← 第2回隠岐島マラソン大会のポスター



↑ 隠岐島マラソン大会プログラム

図書館職員オススメの本

《毎月職員が交代で紹介します》

今月は高井が
紹介します

『無痛』 久坂部 羊 幻冬舎

「痛み」を感じないなんて想像できますか？怪我をしても病気になっても痛みを感じないなんて、一見素晴らしいことのように思えます。しかし、痛みを感じることができなければ、傷や血を見るまで怪我をしたことにも気づきません。現実に無痛症の人は骨折などを繰り返すことが多いようです。日常生活でも怪我などをしないように細心の注意を払わなければならないのです。この小説にはそんな無痛症の青年が登場します。見るだけで症状がわかってしまうという、医者として素晴らしい能力を持っている天才医師の為頼と白神。白神に実験対象として扱われている無痛症のイバラ。別れた妻を追いまわすストーカー男。精神障害児童施設に収容されている14歳の少女。…ある一家四人虐殺事件をきっかけに複雑に関わりあっていく。刑法39条の微妙な問題点も取り上げた、医師でもある著者が書いた一冊。2003年作家としてデビュー。2004年「破裂」がベストセラーとなる。